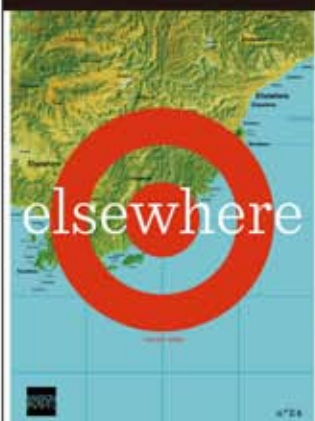


Theme : elsewhere エルスウェア
異郷



遠く離れた内なる旅への誘い。逃避行の欲求や世界を積極的に受け入れたいという願望が、クリエイションやライフスタイルを活気づけます。

見たことのない景色や、冒険、驚きが待っている世界の果てに、新たな異郷を求めているのです。

世界を飛び回っている人やノマド的な人々は、活発に別の何かを探しに出かけます。国際的でありながらより人間味のある世界の地図を流動的に描きます。いつもとは違う世界を体験できることでしょ。

landscape : ランドスケープ
(自然の中の異郷)

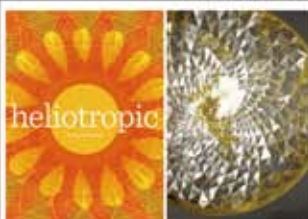
by Elizabeth Leriche



風景を心穏やかに観察することで、眼差しや精神が養われます。それは、創造性の扉を開く事に繋がり、詩的で繊細な自然に対する空想を映し出します。物質の持つ力と儂やかな軽やかさとの間、そして広大さと小世界との間の、精神的な美しい説明は、私たちのイマジネーションを新たな地平線へと瞬間移動させます。感情の世界の旅行記がテーマです。

heliotropic : ヘリオトロピック
(太陽の下の異郷)

by Francois Bernard



太陽がテーマのライフスタイルは、豊饒な時代において、慣習に逆い願望的で祝祭的な、種やかな居住地を求めます。眩しいほどの焼けつく太陽は、まるで火床から取り出した金属の刃のように熱く、真夜中の太陽は、白夜・水鏡のように冷たく輝きます。太陽という天体が、創造の世界を明るく照らします。表高でアートっぽく、セクシーであり、時にはキッチンまたはエキセントリックです。費で陽気な雰囲気の基本です。

beyond : ビヨンド
(深海や宇宙における異郷)

by Vincent Gregoire (Nelly Rodi)



究極に遠い彼方を探る船に速やかにご搭乗下さい。宇宙の果てや深海といった未知の世界へと飛び込みます。現代のコレクションルームは、シーバンクと中深層の人物。そしてロボットや新たな領域を探る宇宙飛行士を集結させます。限りなく遠い場所は、クリエイションに対し、これまでとは違う新しい観点を開示します。不思議でミステリアス、そして星のように輝く思いがけない奇妙な美しさがあります。

TOM DIXON



1959年チュニジア生まれ。フランス人の母とイギリス人の父を持つトム・ディクソンは、1963年にイギリスに渡りました。チェルシー・スクール・オブ・アートを中退し、ファンカボリタンというバンドのベーシストを経て、造形の技術を独学で習得し、家具製造を始めます。



PHILIPPE NIGRO



1975年ニース（仏）生まれ。応用美術とプロダクトデザインを専攻（エコール・ラ・マルティニエール及びエコール・ブル）。今日、彼はイタリアとフランスを拠点に活動しています。1999年からフリーのデザイナーとして活動を始め、2012年まではミケレ・デル・ルッキのもとで製品や家具、照明、インテリアデザイン、イベント、空間デザインなどの数多くのプロジェクトに参加し、経験を積んできました。



DIMORE STUDIO



エミリアーノ・ワルチとブリット・モランは、アートディレクターやグラフィックデザイナーとして、家具関連の事業を通じて技能を身につけました。ディモレ・スタジオの芸術路線は、温かく心地よい、機能的で傑出した、独特の個性を持った空間を生み出すために、デザイン・アート・建築の調和のとれた共存を目指しています。

